

## 「かわさきプラスチック循環プロジェクト」に JR 東日本が新たに参画！

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、市民、事業者、行政のあらゆる主体が積極的に取り組むためのプラットフォームとして、令和4年4月に「かわさきプラスチック循環プロジェクト」（以下「かわプラ」）を設立しました。

この度、本プロジェクトに東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」）が新たに参画し、駅構内から排出される事業系ペットボトルの水平リサイクルの取組を進めるなど同プロジェクトを通じて更なる資源循環を目指します。

### 1 「かわさきプラスチック循環プロジェクト」の主な事業内容

- (1) 川崎市をフィールドに市民・事業者・行政の協働によるプラスチック循環や拠点回収の取組の実施
- (2) 上記取組に関する情報収集と発信及びニーズ、シーズの把握と取組の実施支援
- (3) その他、かわプラの目的を達成するために必要な取組



### 2 参画事業者 JR 東日本の取組

- ①川崎市内南武線の各駅(川崎駅から稲田堤駅間)から排出されるペットボトル（自動販売機横リサイクルボックス及び駅構内店舗を含む）を、グループ会社の JR 東日本環境アクセスの収集運搬・処理を通じて、本プロジェクトに参画している川崎市内リサイクラーへ持ち込み、水平リサイクルを推進します。
- ②自動販売機リサイクルボックスや駅構内などへのポスター掲出など普及啓発に取り組み、更なる資源循環を促進します。
- ③駅構内から回収されたその他プラスチックについても水素へのケミカルリサイクルを検討し、更なる資源循環に向けてグループ一体となって取組を進めます。

